

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について (オプトアウト)

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研究課題名	AIを用いた病理組織診断支援のために必要な症例の収集。
当院の研究責任者 (所属)	歯科口腔外科 教授 村松 泰徳 (歯科口腔外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	朝日大学歯学部口腔病態医療学講座口腔病理学分野、教授、058-329-1427 永山 元彦
本研究の目的	AIにおける診断支援システムを構築し診断水準の均てん化を図ることが目的である。
調査データ該当期間	2016年1月1日より2025年12月31日
研究の方法(使用する 資料等)	朝日大学病院歯科口腔外科を受診され細胞診を行った患者様の病理組織標本の画像を使用しAIに学習させる。
試料/情報の他の機関 への提供	細胞診 朝日大学
個人情報の取扱い	完全に匿名化し外部と途絶したPCにて保管します。 研究結果の公表においても個人が特定されることはありません。 また研究以外での目的で情報を使用することはありません。
本研究の資金源(利益 相反)	朝日大学歯学部口腔病態医療学講座口腔外科学分野から配分される研究費によって実施。利益相反は生じない。
お問い合わせ先	研究者代表 朝日大学病院 歯科口腔外科 教授 村松泰徳 (058-253-8001)
備考	